



平成 29 年 10 月 13 日
海 上 保 安 庁

西之島の火山活動状況について（10月7日観測）

10月7日、当庁羽田航空基地所属航空機(MA722)により、西之島の火山活動の観測を行いました。

午後 1 時 25 分から約 30 分間の観測中に火砕丘中央の噴火口東側内壁から白色噴気が高さ数m上がるのを確認するとともに、島の北岸から南東岸にかけて変色水を確認しましたが、噴火活動は確認できませんでした（図 1，2 参照）。

西之島においては、4月20日に新たな噴火を確認した後、噴火活動が継続していましたが、8月2日の観測を最後に噴火活動は確認されていません。

10月3日に開催された火山噴火予知連絡会では、「西之島は1年半の休止期間を経て4月に噴火した経緯を踏まえると、噴火活動が再開される可能性が考えられる。」と評価しています。

海上保安庁では今後も注意深く監視を継続するとともに、引き続き航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。



図1 西之島全景（10月7日撮影）

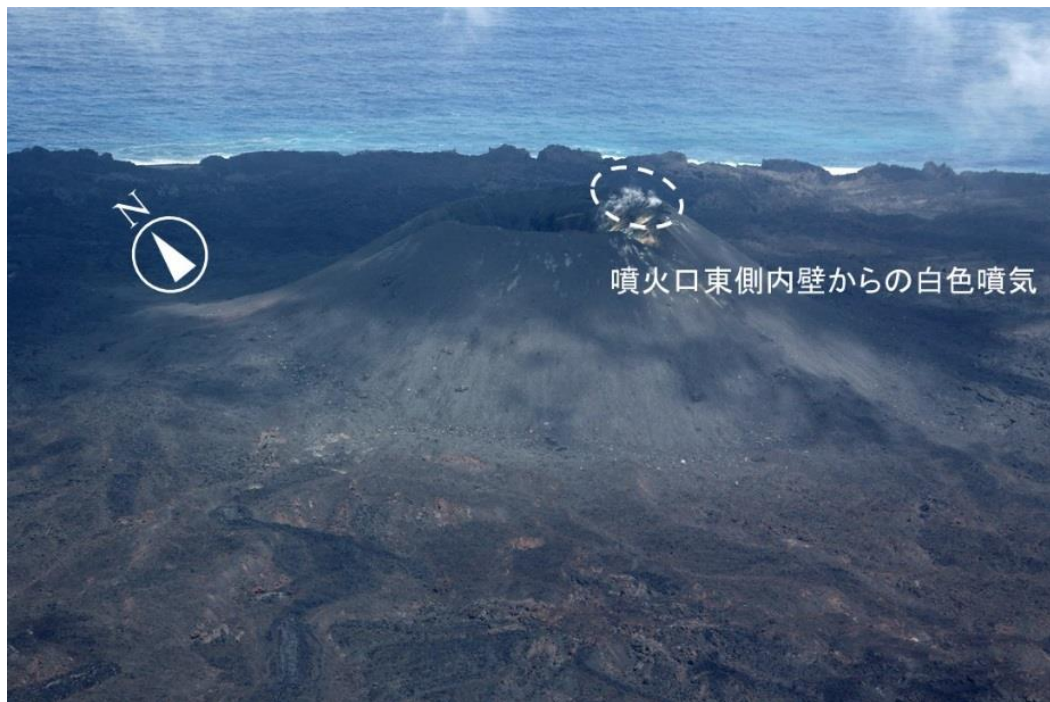


図2 火砕丘中央の噴火口東側内壁からの白色噴気（10月7日撮影）